

ヘルクレスは知恵を絞って、この難行を解決しました。竜と一緒にこの花園を守っていたヘスペリデスの姉妹の父親であるアトラスに金のリングを取ってきてもらうよう頼み、その間アトラスに代わって天を支えることを交代しました。リングを取ってきたアトラスはヘラクレスの代わりにリングを届けてやると言いましたが、それでは自分がアトラスの代わりに天を支え続けることになるかと察知したヘルクレスは肩が痛いので肩布団を敷く間替わってくれとアトラスに頼み、アトラスがリングを地面に置き、天球を担いだ瞬間リングを拾って、アトラスにあつく礼をのべてユーリステウス王のもとに帰って行きました。ヘルクレスはこの竜と戦ってはいないのに星座ではなぜか竜の頭を踏みつけて押さえている姿に描かれています。また、竜は金のリングを忠実に守り続けたことで、天に昇って星座になったと言われています。

★今月のテーマ 土星を観る会

土星、美しい環、(ひょっとすると傾きが大きいので、カッシーニの隙間が見えるかも?)
 本体表面の縞模様、複数の衛星。
 皆さんも自分の目で地球の仲間の星を観てみませんか?

-次回の天文クラブ-

●8月の星を見る会

中止になりました

●仲秋の名月をみよう

9月10日(土)午後8時より

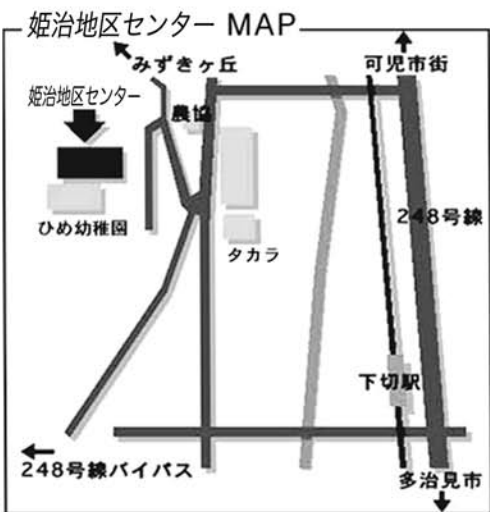
お月見、土星の観察

秋の星空教室

※観察時は冷えますので暖かい格好で来てください。

姫治地区センター
 岐阜県可児市下切 1530
 ☎0574-62-0104

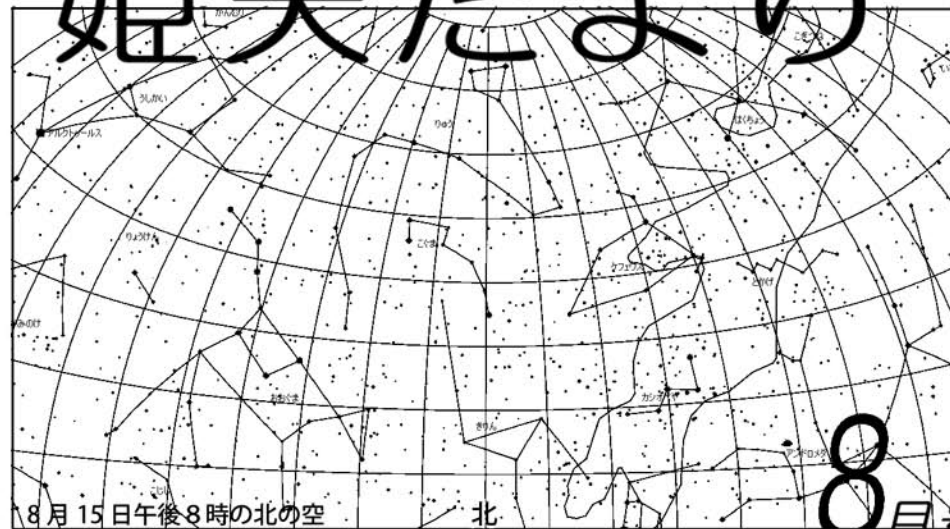
姫治天文台
<http://himeziten.yu-yake.com/>



JR太多線下切駅より徒歩13分
 2022年8月1日発行

※観望会についてのお問い合わせは
 姫治地区センター (62-0104) まで

姫天だより



★今月の星座 りゅう座

8月号
 2022

8月上旬に北極星の真上に来るりゅう座、ちょうどとぐろを巻いて小熊を取り囲むように姿が描けます。周極星で出来ていますから1年中北の空に見えるのですが、見ごろはやっぱり天高く昇る夏の宵だと思えます。明るい目立つ星がないので、特に姫治の天文台からは可児市中心部の明かりによる光害で見つけにくいのですが、ヘルクレスの足元にいびつな四角形が見つければ意外と星座の形がつかみやすくなります。この四角形が口から火を吐く竜の頭にあたる星で、いったんケフェウス座の方向に下降した星々が今度は小熊座の小柄杓を取り囲むように頭の星の高さまで上昇し、小熊をまたいで北斗七星に沿うように下降した星の並びが見つかります。これがりゅう座になります。

アルファ星は竜のしっぽに近いところにある3.6等星のトゥバン(竜)の意味。ほかにも明るい星があるのにこの星がアルファ星になっているのは今から5000年ほど前に北極星として輝いていたからだと考えられます。歳差運動によって天の北極は25800年の周期で移動していますが、トゥバンは、ちょうど天の北極が移動する円周上の星にあたっているからです。

その証拠として、今から5000年ほど前に建てられたエジプトナイル河下流のギゼーのピラミッドの中心にある王の墓室から北側に通じるトンネルからも知ることが出来ます。31度の傾斜を持つこのトンネルは、当時の北極星トゥバンを指していたからです。

そのほかの星として、2.8等星のβ星はラスタバン(竜の頭)、2.2等星のγ星はエルタニン(竜の頭)、3.1等星のδ星はノドゥス・セクンドゥス(第2の結び目)の意などの名がついています。

神話では、北アフリカのアトラス山にあるヘスペリデスの花園で、金のリングを守っていた竜である。この竜は100の頭を持ち無数の声を持っていて、その頭は1度にすべて眠ることはなくずっと金のリングを守っていました。12の仕事させられた勇士ヘルクレスの11番目の難行がヘスペリデスの花園にある金のリングを取ってくることでした。

裏面に続く